



図面作成
サポート業務 **麻木 佐智子さん**
▶入社4年目
▶家族構成/夫、子(5女)
[高校生1人、中学生1人、小学生2人、園児1人]

休み方は自由に働き方も自由に。 今の会社だから 仕事ができると思っています。

小学校と中学校のPTAの役員を掛け持ちしているのですが、たまに学校行事で仕事を抜けないといけない時がありますが、そんな時でもうちの会社は臨機応変に対応してくれます。何より社員の事情を理解してくれるので非常に感謝しています。上司に一言言えば中抜けや早退は、柔軟に対応してもらえます。それだけ社内での仕事をフォローし合うチームプレーができているということでしょうか。

子どもが5人いてフルタイムで働くのはツイと思われがちですが、社内支援体制・環境が出来ているので仕事を続ける事が出来ていると思います。現在は、1級土木施工管理技士の取得を目指しています。スキルアップしてさらにバリバリ働いていきたいです。

Snapshot



家で5人の娘に囲まれる“女帝”です。

仕事場では現場をサポートする重要なポジション。



麻木さんの近況

麻木さんは夫と5人のお子さん、義母の8人家族。一番下のお子さんの出産後、建築業での経験を活かしたいと、現在の会社に入社されました。現場の仕事から業務部として各部門のサポートなど仕事は多岐に渡ります。入社当初からフルタイムでバリバリ働かれている麻木さんは家庭でも家事・育児と大忙し。ご家族や会社の協力を受けながら、頑張っています。

仕事は常にチームプレー、社員が連携できる仕組みがあります。



代表取締役
西垣 豪さん

今の時代に「男らしさ、女らしさ」と言えば語弊がありますが、男らしく家庭においては女性を守り、家事・育児をサポートする意識は必要だと思っています。当社では男女関係なく全力で働ける機会を与え、また家庭を顧みる機会も与えています。だから麻木にも遠慮なく自分のライフスタイルに合った働き方をしてもらっています。それにはもちろん社内の体制が重要です。以前は各現場での仕事内容・進捗状況が不透明でなかなか社員間の連携が取りづらかったため、残業が増えたり、休みも取りづらい状況がありま

した。この問題を改善するため業務部を新たに設けて、各現場・部門を見渡してサポートや管理を行えるようにしました。その結果、残業が減り、誰かが休みの時は部門を超えて協力することができるようになりました。

今後は若い社員も増えていくので社員それぞれの要望を把握しながら、仕事と家庭を両立して成長していける職場環境を整えていきたいです。

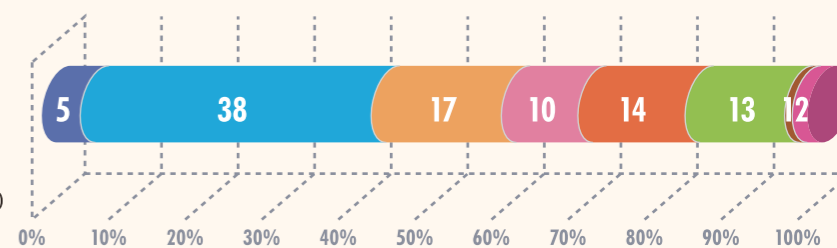


ポイントは「ココ！」

- 1 全体を統括する部署を設置して、社員間の連携を強化
社員が協力し合える体制を作り、休暇を取得しやすい環境や残業の減少につなげる。
- 2 急用、子育ての外出、早退等の申出に会社が柔軟に対応
家庭の急用時など、上司への一言で外出を認めてくれる。
- 3 すべての社員が平等に意見や要望を言える環境
それぞれの社員の家庭事情を聞き入れ、多様な働き方の推進に前向きである。

麻木さんのライフワーク・バランス

- 学んでいる自分 (スキルアップの習い事、独学)
- 家事をする自分 (炊事・洗濯・掃除等の家事の時間)
- 母(子育て等)の自分 (子育ての時間)
- 社会の一員としての自分 (ボランティア・地域活動の時間)
- 仕事をする自分 (仕事をしている時間)
- 妻の自分 (夫婦で買い物、散歩などの時間)
- 余暇を楽しむ自分 (一人で散歩・ショッピングなどの時間)
- 娘・息子としての自分 (息子・娘として家の手伝いの時間)



※ライフワークバランス…一週間の生活の中の「自分の姿」を平均的にみた構成割合です。

あつみ 監修者 渥美さんのコメント

風通しの良い雰囲気やベースに、全体を統括する部署で業務をやりくりしている。



栄養士 池内 奈々恵さん
 ▶入社3年目
 ▶家族構成/夫、子(2男1女)
 [小学生1人、園児2人]

出産後、無理なく職場復帰。 本人の意向をかなえてくれる 頼りがいのある会社です。

職場復帰後は、育児のことを考えて始業・就業時間の繰り下げ・繰り上げをしてもらいました。女性が多い職場で育児への理解もあり、個人の事情が第一の会社なので本当に感謝しています。現在はフルタイム勤務で、栄養士として毎日の弁当や給食の献立作りをしています。

自分の考えた献立に対して「今日もおいしかった」「彩りがよかったよ」とお客様から感想を聞いた時は、何よりも嬉しくやりがいを感じる瞬間です。家では、夫が休みの時は掃除やご飯を作ってくれたり、夫婦で助け合いながらがんばっています。忙しい毎日ですが、子どもたちに絵本を読んであげたり、スキンシップをしている時間が私たちの何よりの栄養になっています。

Snapshot



家族やまわりの協力で家事や育児を
助けてもらっています。

栄養、カロリーは
もちろん、お客様
の声を活かした
メニュー作りを
しています。



池内さんの 近況

栄養士の資格を活かしたいと、今の会社を選ばれた池内さんは入社後に3番目のお子さんの妊娠・出産を経験しました。育児休業復帰後しばらくは、お子さんが保育園に入所できなかったため近くに住むご両親に面倒を見てもらいながら、仕事では時短勤務制度を活用し、育児と仕事を両立したとのこと。現在は、通常勤務にてこれまで以上に仕事をこなしています。

女性の働きやすい環境を常に考えています。



代表取締役
玉川 政一さん

当社は女性の多い職場で、家庭の事など何でも気軽に話せたり、相談できたりする環境が自然とできており、社員の定着率も非常に高いです。また、ボトムアップの会社で、現場の社員の意見を特に大切に、社員は会社に何ができるか主体的に考え働いています。会社としても、社員が働きやすい職場づくりに努めています。社員の中には、まだ小さなお子さんがいたり、お子さんが病気や障がいを持っておられたり、シングルマザーであったり様々な方がいます。そのような社員が平等に働くことができるように画一的な働き方

ではなく、働く側の意向に沿って勤務時間を短くしたり、シフトを調整したりフレキシブルな働き方を推進しています。また、反対にどんどん働きたいという社員には男女関係なくチャンスを与え、思いっきり働くことができるようにしています。今後は女性の管理職を今以上に増やしていき、女性の社会進出を後押しできる会社を目指していきたいと思っています。

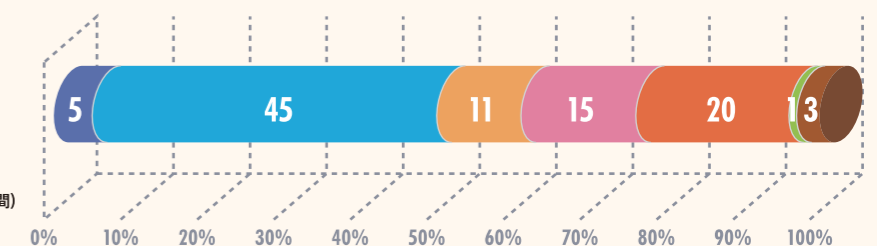


ポイントは「ココ！」

- 1 個人の事情に合わせた働き方が可能
短時間勤務やシフトの調整など、個人の事情に合わせて働くことができる。
- 2 女性の多い職場で、子育てに対する理解がある
女性が多いので、家事・育児に理解があり心強い。
- 3 女性の社会進出に対して前向きな会社
男女の隔たり無くどんどん仕事をできる環境がある。

池内さんのライフワーク・バランス

- 学んでいる自分 (スキルアップの習い事、独学)
- 家事をする自分 (炊事・洗濯・掃除等の家事の時間)
- 母(子育て等)の自分 (子育ての時間)
- 社会の一員としての自分 (ボランティア・地域活動の時間)
- 仕事をする自分 (仕事をしている時間)
- 妻の自分 (夫婦で買い物、散歩などの時間)
- 余暇を楽しむ自分 (一人で散歩・ショッピングなどの時間)
- 娘・息子としての自分 (息子・娘として家の手伝いの時間)



※ライフワークバランス…一週間の生活の中の「自分の姿」を平均的にみた構成割合です。

あつみ 監修者 渥美さんのコメント

個人の事情に配慮しつつ、男女に関わらず機会を与えて能力を發揮させている。



プログラマー **竹本 由美さん**
 ▶入社18年目
 ▶家族構成/夫、子(1男1女)
 [小学生2人]

時間単位の有給休暇制度と職員間の子育てに対する自由さが助かります。

職場は、平均年齢が30歳代と子育て世代の仲間が多く、チーム制となっていることから、急に休みを取っても、チームでカバーしてもらえるので大変感謝しています。子育てに対して理解がある職場で、育児休業後の復職時には、6時間の短時間勤務制度を子どもが就学するまで活用することができ、子育てと仕事を両立できました。また、学校行事に参加するときの時間単位での有給休暇は、子育てには大変助かります。自分の組んだプログラムの結果が直接見え、会社に利益が出た時には還元もあり、やりがいのある仕事だと思っています。今後は、せっかく恵まれた環境で仕事ができるので会社のためにも、自分のスキルをもっと上げないといけないと思っています。

Snapshot



同世代の社員が多く、公私ともに相談しやすい環境。

社員がくつろげる社内ラウンジ。



竹本さんの近況

高度な技術とスキルを必要とするプログラマーとして働いている竹本さんは、夫婦と2人のお子さんと両親、祖父母の8人暮らし。家事はお母さんや祖母に助けをもらいながら2人のお子さんの良き母親として、自分が好きで選んだ仕事と両立しておられます。職場環境は、子育て中の社員をサポートするのは当然だという雰囲気だそうです。

社員がいなければ仕事は遂行できない。仕事同様に「育児」は大切。



代表取締役
松田 善夫さん

子育ては、家庭の中でも社会の中でも重要なもの。私たちの仕事は、社会のシステムを創り出すことですが、鳥取の未来を創り出す可能性を持った人材を育てることも重要な使命です。そのため家庭教育の充実に向けた職場環境づくりに取り組み、参観日や学校行事には積極的に参加するよう促し、時間単位の有給休暇制度をかなり以前から導入しています。

育児休業後からの復職後は、短時間勤務制度を利用でき、給与は休業前の給与を基準に支給しています。また、会社の業績に応じて、生じた利益

の3分の1を社員に還元しています。会社の利益は、社員の頑張りなので還元するのは当然だと考えています。

仕事はチーム制で業務に取り組んでおり、一人が数時間、一日欠けてもチーム内及び会社全体で対応する体制を取っています。今後も子育てと仕事を両立できる職場環境を整備していきたいと思っています。



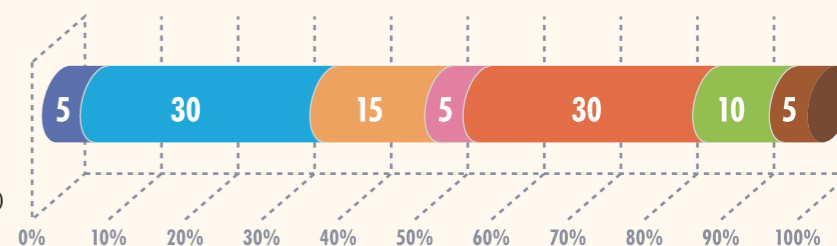
この企業の子宝率
1.58

ポイントは「ココ！」

- 1 仕事は全てチームプレイ。全員でカバーする体制**
学校行事、参観日等で休んでも、チーム全体でカバーするという職場の意識が高い。
- 2 出産時に特別有給休暇制度を整備**
男性には、配偶者の出産時には、3日間の特別有給休暇制度を設置。
- 3 生じた利益の1/3は社員に還元**
業績アップは、社員の努力によって得られたもの。これを決算時に還元。

🕒 竹本さんのライフワーク・バランス

- 学んでいる自分 (スキルアップの習い事、独学)
- 家事をする自分 (炊事・洗濯・掃除等の家事の時間)
- 母(子育て等)の自分 (子育ての時間)
- 社会の一員としての自分 (ボランティア・地域活動の時間)
- 仕事をする自分 (仕事をしている時間)
- 妻の自分 (夫婦で買い物、散歩などの時間)
- 余暇を楽しむ自分 (一人で散歩・ショッピングなどの時間)
- 娘・息子としての自分 (息子・娘として家の手伝いの時間)



※ライフワークバランス…一週間の生活の中の「自分の姿」を平均的にみた構成割合です。

あつみ 監修者 渥美さんのコメント

利益を社員に還元することで、社員に頑張る活力を与えている点が工夫されている。